

京丹後市都市拠点等の在り方検討会議 会議録

- 1 会議名 令和4年度第1回京丹後市都市拠点等の在り方検討会議
- 2 開催日時 令和4年7月29日(金) 午後1時30分～午後4時30分
- 3 開催場所 京丹後市役所2階 205会議室
- 4 出席者氏名
 - (1) 委員
大庭哲治、藤井美枝子、寺田義弘、今井みどり、堀井眞、味田佳子、山崎高雄、
嶋田健一郎、水田朋子、水嶋式行、田中智子
 - (2) 意見聴取者
荒山区長 荻野真作
 - (3) 事務局
建設部長 安田悦雄
建設部都市計画・建築住宅課 課長 中川正明、同課 係長 中村正人
市長公室長 川口誠彦
政策企画課 都市・地域拠点整備推進室 室長 井上浩一、同室 楊川優太
同課 山添史帆
有限責任事業組合まちの人事企画室 代表 川淵一清
- 5 内容
令和4年度都市拠点等の在り方検討会議の進め方等について
- 6 公開又は非公開の別 公開
- 7 傍聴者 1人
- 8 議題
 - (1) 令和3年度検討の振り返りについて
 - (2) 令和4年度検討の進め方について
 - ア 若者ワークショップ
 - イ 都市拠点基本構想構成
 - (3) 都市拠点の目標（コンセプト）について
 - (4) その他
- 9 その他
検討会議の構成（区長連絡協議会からの委員交代）

(開会)

- 委員長 本日はリモートでの参加ということで、ご不便をおかけします。
- 挨拶 昨年度は、都市拠点全体の議論に先立ち、山陰近畿自動車道の整備に伴い、しんざん小学校隣接地エリアについての議論を行い、どのような公共機能が必要なのか構想の検討を進め、検討会議の中間報告を取りまとめ

ました。

今年度は、都市拠点全体の構想として、都市の機能、全市に波及させるための交通ネットワーク構造等について、議論を進めます。

また、本日は、しんざん小学校隣接エリアの地元地区の区長にご出席いただき地元のご意見をいただきます。

(事務局から資料に基づき説明)

(1) 令和3年度検討の振り返りについて…資料1

(質疑応答及び意見)

荒山区長　　まずは苦言を申し上げたい。

令和3年度は、しんざん小学校隣接エリアの都市拠点機能について検討された。この検討の場に荒山地区の代表が1人も参画していないことに憤慨している。地元の間が不在のところ、荒山地内の構想案を検討されても地元は関知できないというのが正直な本音です。

荒山地区は、山陰近畿自動車道のアクセス道路により、地区の真ん中で地域が分断される。5年ほど前から、アクセス道路整備による地元のメリット・デメリットを整理し、特にデメリットの解消として区民の安心と安全な生活を守るために、荒山アクセス委員会を設立し、関係機関と協議・調整を図ってきた。そのような中、昨年度の検討会議の結果や様子などを見聞きして、地元区の意見を吸い上げる機会を作ってほしいと要請し、本日は出席している。

市の都市拠点構想に反対する意見は持っていません。市の構想と地元の要望を融合させる案をお願いしたい。

荒山区にも総合計画があります。現在、約1000世帯、人口約2000人で、どんどん人口が増えつつある地域です。そのような状況の中、荒山地区の公民館のあり方を検討しており、いくつかの課題があります。

一つ目は、施設の老朽化です。旧館・新館の二つの建物を持っています。旧館は元新山小学校の旧校舎であり、新館は平成8年くらいの建築です。どちらも老朽化しており耐震基準も満たしていません。

二つ目には、土地や建物が狭いということです。駐車場が狭いことや、市の投票所や避難所となっているにも関わらず建物が狭いということです。隣の新町地区で約1000人、合わせて約3000人の避難場所が荒山地区の新館が担っています。昼30畳ほどしかない建物や手狭な駐車場では、避難所等としてどうするのか問題となっています。

現在の公民館の場所を拡大するという案もありますが、アクセス道路

の用地買収後の残地となるしんざん小学校隣接エリアが、まさに地元で考えている公民館建設の候補地の一つとなっています。

いまの公民館の周辺は、旧村と言われる地域で、地区の少し端の方になります。また、地区の真ん中に竹野川が流れており、その竹野川より西側、峰山中学校や峰山駅側のエリアの人口が、旧村の周辺よりも増えてきています。新しく来られた方々が多くなり、地域が二分化されていることから、荒山を二つに分けるといった極端な意見も聞こえたりする中、何とか地域を一つにまとめるために、みんなが集まりやすい公民館をなんとか設立していきたいと、荒山の中で相談しているところです。

そのため、この機会にしんざん小学校隣接エリアに公民館の事務的な場所の機能を融合させることはできないかと考えています。これは、私個人の意見ではなく、現区長を含め直近5年間の区長経験者5人で構成される荒山会議の中で問題提起され、審議して意見をまとめたものです。

以上が、地元の声であり、最終的にこの検討会議の中、または昨年度の構想の取りまとめの中に、荒山区の施設のことを記載されることを希望するものです。参考意見で「はい、そうですか。」であれば、ここに来ている意味もないので、途中退席でも結構です。それぐらいの気持ちで私はこの場に来ています。

構想案が検討されている土地は、すべて荒山地区の地権者のものであり、その地権者の方々を含めて、地元がデメリットを上回るメリットを享受できる構想案でないと、地元からの賛同は難しいものと考えています。

委員長

一点目は、これまで荒山区の意見が検討会議で十分反映できる状況でなかったという意見。二点目は、荒山区の中で考えられている計画として、今後、公民館、交流機能をしっかりと整備していきたいという意見。三点目は、それらの意見がどこまで検討会議の中で反映できるのかという意見であります。

一点目の地域の意見が反映できる状況でなかったということについては、指摘のとおりです。昨年度は、特にしんざん小学校隣接エリアとして非常に限定したエリアを議論しました。その議論にあたり、地元の意見が十分に汲み取ることができなかったことは反省すべきことと思います。また、今後も意見いただければありがたいと思っています。

二点目の公民館が老朽化していることから、公民館の機能を拡充して、今後も引き続きしっかりとその機能を発揮していきたいという意見です。昨年度、このエリアでどのような機能が必要なのかという議論を進めており、資料1の構想の中では具体的に公民館としての機能は明示していないものの、市民の交流、あるいは市外の方々との交流する機能について、公共施設等整備の検討の中で留意事項としてあげていますので、その

中で配慮していくことも可能と考えています。

事務局 これまでに地元の意見を聞けなかったということにつきまして、反省すべき点と思っております。

しんざん小学校隣接エリアが都市拠点ということで、市内外の方、地域の方との交流の場として位置付けをさせながら、今後、こういった機能を持った施設とするのか、地元からのご意見をお聞きしながら検討していくものと考えています。

また、避難所につきましては、行政側が考える課題であり、学校等が避難場所となるもののほか、地区の公民館などを活用させていただき避難所の開設や自主的に地区の方で開設していただいている状況です。この件については、行政でしっかりと検討する課題であり、都市拠点に公共施設をつくるにあたって、避難所を兼用できる構造にするといった考え方も取り込めるのではないかと考えています。

令和4年度では、行政側も含めて、しっかりとこの拠点地域にどのような機能があるのかを検討し、令和5年度以降、詳細な部分の検討をしなければならないと考えています。その際は、地域との課題も含めて検討していきたいと考えているところです。

委員長 地元の皆様の意見は非常に重要だと認識しています。意見をいかに市の都市拠点等の在り方で汲み取っていくのか、積極的に努めたいと考えています。

この検討会議は、市の都市拠点等の在り方ということで、検討するエリアが市にとって非常に重要な場所、まさに市の中心を担う場所の認識のもと、議論を進めています。地元の方々とうまく合意形成を図れない部分もあるかもしれません。そのため、お互いの意見を交わしながら共有できる部分、お互いが理解できる部分を多くつくっていききたいと考えています。

荒山区長 今年度の全体の都市拠点として広範囲の構想を検討していく中、荒山地区に関係するしんざん小学校隣接エリアの具体的な計画をいつどこで検討されるのですか。

委員長 この検討会議は、拠点の在り方を検討するもので、このエリアのどの部分にどのように何をつくるのかといった具体で、詳細な検討をするものではありません。コンセプトや今後の方向性を定めていくことがこの検討会議で求められる内容です。

事務局 今年度は、都市拠点の在り方として目標、コンセプト、交通ネットワークについて、全体的にどう都市拠点としてあるべきかを議論いただくものです。

なお、昨年度に議論し、中間報告として取りまとめたしんざん小学校隣

接エリアの構想については、公共施設の在り方として、子育て支援施設、図書館、市民ホールといった文化芸術の建物などを想定しています。このエリアにどのような施設が必要か、一定明確に定めたうえで、来年度以降、どのような機能を持たせるか詳細な建物の検討に進んでいくものと考えています。

荒山区長 荒山区民に、この計画がこのように進んでいることをほとんど周知できていない。本日の検討会議の質疑を受け、何らかの答えを区民に出そうと考えている。具体的な年次計画や、具体的な施設内容を審議する場を教えてください。

事務局 現時点で、具体的なスケジュールを定めていません。

今年度、検討会議で頂いたご意見をもとに、令和5年度に、基本計画を検討する会議体を持ち、協議を進めていくことを考えています。その中でも、地元と交流ができる施設、公民館の課題、避難所の課題について、地元のご意見も聞きながら進めることを考えているところです。

検討委員会で検討する内容は、市の都市拠点としての在り方でありま。検討会議の結果は、事務局から地元の説明や調整を考えています。

荒山区長 市に公民館を建ててほしいとか、市の施設の中に入れてほしいというものではありません。すべて市に甘えようという考えではなく、市の施設に隣接するところに荒山の公民館なり事務所があるという考えです。公民館の建設は地元が自費で行えばよいというものです。

荒山には荒山の希望があり、展望があり、総合計画があるため、それらと市の構想がうまく融合できる案を考えていただきたいと思っています。

委員長 今後、市の都市拠点構想と荒山区の要望、荒山区の総合計画がうまく融合できるよう、また、荒山地区の皆様をはじめ市民が便益を享受できる形となるよう検討していくものと考えています。

(事務局から資料に基づき説明)

(2) 令和4年度検討の進め方について

- ア 若者ワークショップ…資料2、資料3
- イ 都市拠点基本構想構成…資料4、資料4参考

(質疑応答及び意見)

委員長 若者ワークショップキックオフイベントに、コーディネーターとして私も参加しました。若者の意見を引き出す点で非常に重要な役割を果たすとともに、将来の京丹後を担う若者の人材育成の役割も果たしている

と感じました。非常に意義のあるワークショップが立ち上がったと認識しています。当日は、委員の方2人も参加いただいております。本当に今後が楽しみであります。

委員 若者ワークショップキックオフイベントに参加して、大変若者に刺激を受けました。我々が思っているよりも高校生、大学生はすごいというのが第一印象です。私のグループでは、市内在勤者2人、1月に1回丹後に来られる人と私の女性4人でした。京丹後市のことをすごく考えてくれる人達でした。今まで、交通弱者の方は学生とお年寄りだと思っていたものの、この京丹後市で働きたい、働くぞということで来てくれた2人から、「都会にいる時は常に交通機関を使っていたから、京丹後市に来てから自分が移動するための足がない。」ことを聞き、こういう人達もいるということが分かりました。そういう人達のことも含め、これから我々も交通網を考えていく必要があると思いました。また、やはり交通網がもっと観光客にも住民にも優しい場所でないとだめだということを考えさせられました。これから都市拠点の在り方を考えていくうえで、若者の意見というのは本当に大切だなと思います。若者との合同ワークショップが楽しみです。

(事務局から資料に基づき説明)

(3) 都市拠点の(目標)コンセプトについて…資料5

(質疑応答及び意見)

委員 資料5の検討会での全体に対する意見等に「未来に向かって発展するために京丹後新駅の検討」があります。今度、アクセス道路が付くところは市の玄関口であります。そのため、市の知名度をあげるためにも、「京丹後新駅」について是非、検討することが大切だと考えます。

事務局 外から人を呼ぶためには駅が必要だという意見等を若者ワークショップに伝え、次の会議までにそういった観点も含めた検討をしていきたいと考えています。

委員長 基本コンセプトは、都市拠点の基本構想の目標を皆様が一定同じ方向性を目指していけるようなキャッチフレーズとして、資料5の例として「人が集い、人がつながり、新しい価値を生み出す」を示しています。これは、今までの検討会議の皆様方からの意見や若者ワークショップでの意見などを踏まえて、キーワードを抽出し、人が世代間、分野間を跨りながら、人が集い、人がつながって、京丹後らしい新たな価値を生み出していこうというものです。概ね委員の皆様方からの一定のご理解いただけ

るのではないかと考えています。

委員 この例えは、すごく良い文言だと思います。ただ、固い文言かなと思います。もっと柔らかく若者が賛同してくれるような文言が良いと思います。

委員 目標、目指すべき方向性の例えで「人が集い、人がつながり、新しい価値を生み出す」が示されています。22年前、J C理事長を務めていた時に6町合併を提案しました。その時のテーマが「be different 交流そして創造へ」であります。昔から全く同じ様なこと言っていると思います。当時から交流をすることで何か新しい価値を生み出そうみたいな話は盛んに言われていて、22年経ってもまだ一緒ではなく、もう一段突き抜けたようなフレーズが若者から出てきたら良いと思います。

委員長 20年以上前から「交流」「人とのつながり」「人が集う」ということが、すでに謳われていたということで、やはりこの京丹後においては、人が集うということ、交流するということが、目標として掲げるけれども難しい状況であること、その交流がやっぱり大事なんだってということも改めて認識しました。それと合わせて、将来を見据えて何か新しい視点も盛り込めるといいのかなという意見をいただきました。

(事務局から資料に基づき説明)

(4) その他…資料6、資料7

(閉会)

副委員長 本日は、荒山地区の区長様から、地元住民の目線からの貴重なご意見をいただきました。今後について、私からも、事務局から荒山地区の皆様にご丁寧な説明をお願いします。

都市拠点の全体構想の検討について、次回、将来を担う若い方達と検討会議と一緒に議論する合同ワークショップが予定されています。次回も有意義な検討会議となりますようお願いします。